



ら び っ く La・BOOK

6月号
No.12

明科図書館の企画展示



自分色の生き方

～うたがみえる きこえる
そんな一冊に出逢えたなら～

音楽や楽器、作曲家を題材にした図書があります。絵本の中では、動物や人物が楽器を奏でています。あの時、あの頃のうたや曲が風景とともに聞こえてくるようです。

そこには、自分にしか表現できない『自分色の生き方』が書かれています。絵本・児童書・一般書・CD等50点選びました。1/16のかわいい分数ヴァイオリンも展示してあります。ぜひご覧ください。



展示資料

- 『遥かなる望郷のバラード』 竹内祥子/ショパン
- 『チェロの木』 いせひでこ/偕成社
- 『小澤征爾さんと、音楽について話をする』
小澤征爾/新潮社
- 『いのちのヴァイオリン』 中澤宗幸/ポプラ社
- 『セロ弾きのゴーシュ』 宮沢賢治/古今社
- 『左手のコンチェルト』 館野泉/佼成出版社
- 『モーツァルトはおことわり』 マケルモバゴ/岩崎書店
- 『音楽力』 日野原重明/海竜社 等

堀金図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

堀金出身の二人の文学者

一人は臼井吉見、もう一人は？



名前は、**山田多賀市** (やまだたかいち)。農民解放運動家・農民作家。本名を多嘉市という。明治40年堀金田尻に農家の長男として生まれた。小学校を終えて、子守奉公、大工・瓦焼屋の弟子、農家の雇人などに従事。

- 19歳 伊那谷の発電工事場で働き、葉山嘉樹と知り合い読書に興味を持つ。甲府にて瓦焼屋職人。
- 21歳 農民解放運動に参加。官憲(特高)の弾圧で獄中へ。獄中で肺結核。
- 25歳 運動から転向し作家を志す。養蚕業を営み病氣と闘いながら原稿書きに没頭。
- 30歳頃 「耕土」が出版され、「中央公論」や「赤門文学」で高い評価を受ける。
- 戦後(38歳過ぎ) 農業技術を向上させて、食糧増産を訴える手段として、農業技術雑誌の発行。甲府市内に印刷業を開業。
- 64歳頃 自伝小説「雑草」により全線文学賞を受賞。
- 79歳 随筆「終焉の記」を出版。
- 82歳 山梨県敷島町にて没す。(平成2年9月)

【関係資料】

- 『耕土』 大観堂書店 1940年
- 『雑草』 東邦出版社 1971年
- 『北富士物語・実録小説』 たいまつ社 1977年
- 『終焉の記』 山梨ふるさと文庫 1987年
- 『堀金村誌 下巻』 堀金村誌編纂委員会 1991年

私と図書館

図書館ボランティア

(19歳女性)

私は今まで、読書をあまりしていませんでした。そんな私が今回、図書館ボランティアに参加しようと思った理由は、人のために何かしたいと思ったのが一番でしたが、もう一つは本についてもっと知りたかったからです。

今まで私が出会った人の中で「読書をしたほうがいいよ」と言う人が何人かいました。私の何倍も長く生きている人達が言うことなので、やはり読書は大切なことなんだと思い始めました。

ですが、いざ本を読もうと思ってもたくさんある本の中で、どれから読めばいいのか迷ってしまいます。

そこで、このボランティア活動を通して、人の役に立ちながら、多くの本と出会い、読書の楽しさを知っていただけらと思っています。これを読んで、もし私と同じ考えの人がいたら、図書館へ来てみてください。



5月貸出ランキング

一般書

- 1 パン屋を襲う／村上春樹
- 〃 シャッター・マウンテン／北林一光
- 3 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年／村上春樹
- 〃 母性／湊かなえ
- 〃 夜明けの街で／東野圭吾
- 6 神様のカルテ2／夏川草介
- 〃 神様のカルテ3／夏川草介
- 〃 海賊とよばれた男上／百田尚樹
- 〃 神去なあなあ夜話／三浦しをん
- 〃 ソロモンの偽証 第3部／宮部みゆき
- 〃 はだかんぼうたち／江國香織

児童書

- 1 かいけつゾロリシリーズ／原ゆたか
- 2 バムとケロのシリーズ／島田ゆか
- 3 かがくいひろしのファーストブックシリーズ／かがくいひろし

AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 〃 トムとジェリーの大冒険／フィル・ローマン監督
- 〃 魔女の宅急便／宮崎駿監督
- 4 剣客商売 SPECIAL／助太刀／井上昭監督
- 〃 スタジオジブリの歌／徳間ジャパンコミュニケーションズ
- 〃 ハリー・ポッターと賢者の石／クリス・コロンバ監督
- 〃 ムーミン谷の彗星／アミューズソフトエンタテインメント

中央図書館休館のお知らせ

年1回の特別整理期間と休館日のため、6月20日～27日の8日間は休館しますので、ご理解とご協力をお願いします。



本のソムリエ（職員）のおすすめ本

一般書 『一九が町にやってきた』

鈴木俊幸／高美書店



本年は、「東海道中膝栗毛」で有名な十返舎一九が、安曇野へ取材のため訪問してからちょうど200年に当たります。一九を迎えた松本の高美甚左衛門（高美書店／松本市）をはじめ、成相新田（現豊科）の大庄屋 藤森善兵衛らは一体どのような人たちだったのか。一九の足取りをたどり、いきいきとした松本の町人たちと、その風雅に満ちた日常が浮きぼりにされています。

（三郷図書館）

児童書 『がんばれ ゆうくん 一年生』

西本鶏介／作 すぎはら

ともこ／絵／鈴木出版



まるでランドセルが歩いているように見える一年生のゆうくんのお話です。ゆうくんが公園へ行くとブランコにのっている、ようちえんのこどもたちがいました。ふとちよの男の子に「おまえなんかのせてやらないからな」と言われます。ゆうくんがまわりの大人に見守られながらりっぱな一年生に成長していく姿がほのぼのとえがかれています。

（三郷図書館）

中央図書館講演会 「安曇族と安曇野」 —古代の穂高神社が果たした役割—

講師 亀山 勝さん <安曇族研究家（財）柿原科学技術研究財団監事 元神奈川県水産試験場 研究員>

著書：『安曇族』（2004）『安曇族と徐福』（2009）『安曇族と住吉の神』（2012）

日時 7月6日（土）13:30～

場所 穂高交流学習センターみらい 多目的交流ホール

申込 6月10日（月）午前9時より 電話または中央図書館窓口にて整理券を発行しますのでお受取ください

入場無料です。



編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-5796
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ（蔵書・資料の検索もできます）
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※

三郷小学校と中学校の特別支援学級の子どもたち56名が、中央図書館を訪れた。中学生のリーダーのもと、館内を静かに見学。こどもとしゃべりながら、整然と並べられた靴の列。「はらべこあおむし」の読み聞かせに目を輝かせた。人として大事なことを身につけた、いい子どもたちでした。

